レスポンシブル・ケア®

三菱ガス化学株式会社

新潟工場

# 環境・安全報告書

## レスポンシブル・ケア

2021年度

MGC

# 目　次


頁

◆ はじめに …… 2
◆ 新潟工場の概要 …… 3
◆ 新潟工場 環境･安全･品質方針 …… 4
◆ 新潟工場の環境･安全活動 …… 5
　◇ 年間目標と重点項目 …… 5
◆ 新潟工場の環境･安全活動概況 …… 6
　◇ 労働安全衛生 …… 6
　　安全活動
　◇ 保安防災･物流防災 …… 7
　　保安防災活動
　◇ 環境保全 …… 7
　　省エネルギーの推進
　　産業廃棄物排出量の削減
　　大気、排水、臭気、騒音への対応
　　リサイクルへの取組み
　◇ 化学品安全 …… 11
　　品質･安全管理の徹底･顧客満足度のアップ
　◇ 社会との対話 …… 12
　　Team ECO 活動･清掃活動
　　地域の催し物への参加
◆ RC全般 …… 13
◆ 新潟工場への代表的な質問 …… 14

# はじめに

執行役員 新潟工場長　橋本　晃男

三菱ガス化学株式会社新潟工場は、阿賀野川の豊富な水と緑の環境の中で、自然と調和しながら新潟地区に多量に埋蔵された天然ガスをベースにユニークな技術開発・製品開発を行っています。当工場の蓄積された技術や化学製品群は国内に留まらず、世界へ向けて供給しており、持続可能な社会発展に貢献すると共に、こうした技術をのちの世代へ繋げていく運営を目指しています。

環境安全活動においては、「事業活動の最優先は安全の確保」という三菱ガス化学グループの安全理念のもと、コンプライアンス遵守はもとより、保安技術と自然調和による安全安定操業・環境保全を徹底して追及しています。また品質活動においては、社会のニーズに応える優れた製品・サービスを提供し、お客様の満足と信頼の獲得に努めています。

本レポートは、新潟工場における保安防災、環境保全にかかる自主活動等　レスポンシブル・ケア（ＲＣ）活動の昨年一年間の実績を写真、図、データ等で皆様にご報告するものです。これからも地域社会の活性化に貢献できる工場に育てていきたいと切に考えておりますので、本レポートをご一読いただき、当工場の活動にご理解をいただく一助となれば幸いです。

今後もより一層のご支援とご指導を賜りますよう何卒お願い申し上げます。

# 新潟工場の概要

## 当社の構成

当社は2020年4月より4カンパニー体制から2事業部門制に事業単位を変更し、より柔軟かつ機動的な投資の促進や事業間シナジーの創出が可能な体制としました。新潟工場は基礎化学品事業部門に属します。また、当社の企業行動の支柱として、これまで内部統制関連三委員会（内部統制推進委員会、リスク管理委員会、コンプライアンス委員会）を運営してきましたが、それぞれの活動が定着する中、時代の変化とともに機能面で整理・レベルアップの必要性が高まってきました。今般、リスク管理の観点を取り入れ内部統制の維持・強化を図る「内部統制リスク管理委員会」と、企業としての社会的責任を強く認識し、公正で透明・自由な事業活動の基盤を守る「コンプライアンス委員会」に再編することに致しました。

## 新潟工場の概要

当工場は、日本海を戴く越後平野に立地し、阿賀野川の豊富な水と緑の環境の中で、自然と調和しながら、新潟地区の豊かな天然ガスをベースに、独自技術展開により発展を遂げてきました。

昭和27年、新潟市内榎地区での天然ガスを原料としたメタノール合成プラントをスタートし、アンモニア･尿素およびその誘導品（ホルマリン、メチルアミン、青酸、メタキシレンジアミン（MXDA）等）の展開、事業化を行ってきました。天然ガスを起点とする展開はさらに、メタクリル酸エステル類、合成樹脂（MXナイロン、特殊ポリエステル、特殊アクリル系樹脂、シアネート樹脂等）、電子工業薬品（超純アンモニア水等）、ライフサイエンス製品へと拡がっています。

また、当工場では、$CO_2$排出が少ないクリーン燃料として、工場内のエネルギー供給に天然ガスを利用しているほか、スチームを工場内で発電に利用する等、特徴ある天然ガス系化学工場となっています。

- 所 在 地　新潟市北区松浜町3500番地
- 敷地面積　740,966㎡（石災法上のレイアウト規制面積）
- 従業員数　476人（2020年12月末）
- 売 上 高　420.8億円（2020年度）

# 新潟工場 環境・安全・品質方針

## 環境・安全・品質方針

**三菱ガス化学新潟工場は、クリーンエネルギーである天然ガスを生産、利用して特色のある化学製品を製造している天然ガス系化学工場です。**

当工場は、「事業活動の最優先は安全の確保」を事業存立のための基盤とし、「環境負荷低減」「安全・無事故無災害」「安定操業・顧客満足」を目標に掲げ、ＭＧＣグループ「環境・安全方針」「ＭＧＣ品質方針」「環境サステナビリティ宣言」に基づき、地球環境と地域に調和した安全で明るい工場を目指し、より良い製品を提供する生産活動に努め、持続可能な社会の発展に貢献します。

1. 環境・安全・品質関係の法令、協定、社内規程を遵守する。
2. 品質を通じて顧客満足の獲得を図るとともに、環境・安全を通じて地域との共生を図る。
3. 設備の保安管理を確実なものとし、自主保安技術の向上に努めると共に、事業活動において保安に影響を与える危険源への適切な対処に努める。
4. 環境・安全・品質及びＲＣマネージメントシステムを確実に運用管理し、継続的に改善・向上させることにより、環境汚染、事故災害、不良品発生を未然に防止する。
5. 環境・安全・品質方針に従い、目標を設定し、定期的に見直すと共に、具体的な活動計画を策定し、その達成に努める。
6. 教育、社内広報活動を通じて、当工場の全従業員に、環境・安全・品質方針を周知させると共に、社外にも公開する。

2021 年 4 月 1 日

三菱ガス化学株式会社
執行役員　新潟工場長
橋本晃男

三菱ガス化学株式会社

# 新潟工場の環境・安全活動

## 年間目標と重点項目

| | 全社基本方針 | 活動目標 | 具体的な実施事項 |
|---|---|---|---|
| 労働安全衛生 | 操業における健康と安全の確保 | ①ヒヤリ気懸り提案活動（環境・品質含む）、非定常作業時におけるKY活動、TPM活動等を通じ一人ひとりの危険への感性向上活動を継続し、協力会社を含めた労働災害撲滅を目指す。<br>②工場および他事業所や他社での災害事例を有効活用する。注意喚起方法の充実を図る。<br>③各種安全活動を通じ、ヒューマンエラー防止を図る。<br>④保安力評価（安全文化）を有効に活用する。<br>⑤協力会社の労働災害を防止すべく、安全情報の共有化、協力会社の安全活動の協力・支援を推進する。<br>⑥適切な作業環境を維持し、改善への活動を推進する。作業記録（労働者の把握）が求められている化学物質を取り扱う作業については、管理の徹底を図る。 | ◆４回/年テーマを決めた全員参加のヒヤリキャンペーンを推進し、提出された事例を解析し安全衛生委員会を通じて啓蒙する。<br>◆工場及び他事業所や他社での災害事例を情報連絡書で周知するとともに、水平展開すべき対策について安全担当連絡会（Bridge-Ⅱ）も活用し、積極的に各部署へ調査・要請する。「転倒、墜落・転落防止」キャンペーンを通じ、教育や周知を行い再発および類似災害の防止を図る。安全週間での安全標語募集において「転倒、墜落・転落」「被液」をテーマに加えて注意喚起を行う。<br>◆外部講師によるヒューマンエラー講演会を企画する。また安全道場を通じ、ヒューマンエラー防止を図る。<br>◆保安力評価での弱みを優先に、また弱みに限らず改善を継続する。<br>◆災害防止協議会やTPM活動、各種道場の協力会社への開放、各WG活動等を通じ、協力会社の労働災害防止を図る。<br>◆作業環境測定、化学物質に係るリスクアセスメントを確実に実施し、作業員へのリスクの周知および改善活動を推進する。<br>◆作業管理が求められている化学物質を扱う部署は、環安Gが作成した記録表等を使用し、記録管理を確実に行う。<br>◆環境安全パトロールにて該当部署の作業記録の確認を行う。 |
| 保安防災 | 現場における保安と安心の確保 | ①本社生産技術部と協調し設備管理の充実を推進する。<br>➢外部腐食管理を確実に実施し、漏洩事故/トラブルの再発防止に努める。<br>➢保安管理システムの維持・改善。工場及び他事業所や他社での災害事例を有効活用する。<br>②工場および他事業所や他社での災害事例を有効活用する。<br>工場の危険源の抽出およびリスクアセスメントを推進する。<br>③保安力評価（安全基盤）を有効に活用する。<br>④教育訓練を充実させ、確実な実施する。<br>⑤ハザードマップの最新版管理を行い周知する。 | ◆1. 本社生産技術部と協調し保全水準評価を受けた改善活動を継続する。<br>2. 外部腐食 新全体管理に従い計画通り進める。<br>3. 新全体管理の実施状況を評価し、新技術の導入など継続して改善を図る。<br>4. 工務部と製造部門の定例会を計画通り実施し、検査結果に基づく設備保全について進捗管理を継続して行う。<br>5. 関係省庁やKHK等からの指摘やコメントを反映し、適切に要則類の見直し等を行い、保安管理システムの維持・向上を図る。<br>◆安全審査の確実な実行および定常・非定常リスクアセスメントを推進し、特に非定常リスクメントについては、各部署計画的に進める。工場の製造設備のHAZOP実施に向け、本社と協力し、具体的な計画の立案作業を行い、推進を図って行く。<br>◆保安力評価での弱みを優先に、また弱みに限らず改善を継続する。<br>◆各道場へ積極的に参加する。◆緊急時対応訓練を計画し実施する。◆実情及び必要性を考慮し各種訓練を計画し実施する。<br>◆関係省庁やKHK等からの指摘やコメントを反映し、適切に要則類の見直し等を行い、保安管理システムの維持・向上を図る。<br>◆ハザードマップの最新版管理ならびに各部署への周知を行うとともに、必要に応じ要則類の見直しを行う。 |
| 環境保全 | 環境負荷の削減と持続可能な社会発展への貢献 | ＜エネルギー管理＞<br>エネルギー原単位を2016年の実績値から0.74%改善、40,000GJを削減する（換算ベースは年間生産量300,000Tとする）<br>＜廃棄物＞<br>2020年の廃棄物想定排出量2,250T以下とする。<br>最終埋立量の推移把握と削減に取り組む。<br>委託処理における事故・異常現象の発生をゼロとする<br>＜環境保全＞<br>排水：構内外排水異常０件　臭気：社外環境トラブル０件、社内３件以下<br>騒音：社外環境トラブル０件　PRTR:排出量0.6T/Y以下<br>水資源：活性汚泥へ送水する廃水管理を適切に行う。<br>＜省資源リサイクル＞<br>事務用紙使用量、古紙回収量を管理する。<br>環境配慮型事務用品の購入率95%以上<br>①生物多様性保全への取り組みを推進する。<br>②環境影響調査を行い、PDCAを廻し改善を図る。 | ＜エネルギー管理＞<br>◆安定運転の継続する（トラブル削減）。◆保温冷やスチームトラップを適正に管理する。◆各部署は個別に対策を実施する。<br>＜廃棄物＞<br>◆産廃排出量が多く“製品量当たりの廃棄物量（ton/ton）：産廃原単位”管理が適している装置について、産廃原単位目標を定め評価する。<br>◆各部署は個別に対策を実施する。<br>＜環境保全＞<br>◆安全審査及び作業前KY、非定常作業前KYの徹底による異常発生を未然に防止する。<br>◆異常発生が懸念される環境情報の共有化を行う（工場イントラシステムの活用）。<br>◆ページング調査実施による異常現象の拡大防止と発生原因を特定する。◆安全衛生委員会による事例を周知する。◆各部署は個別に対策を実施する。<br>◆非定常に使用する工業用水の削減を図る。<br>＜省資源リサイクル＞<br>◆毎月の部署毎の事務用紙使用量、古紙回収量について把握する。◆プロジェクター利用の推進、必要に応じキャンペーンを実施する。<br>◆事務用品の購入状況を把握し、グリーン購入を促進する。◆環境影響調査を行い、PDCAを廻し改善を図る。<br>◆著しい環境側面の改善を計画的に行う。◆エアコンの更新、幹線道路のLED化により環境負荷低減を図る。<br>◆周辺住民へ与える環境影響（騒音、振動、臭気など）の低減を継続的に立案、実行する。 |
| 化学品・製品安全 | 化学品の取扱い・使用・廃棄における安全の確保 | ①製品および原料SDSの最新版への反映と周知を行う。<br>②新規製品開発時における安全性事前評価を実施する。<br>③品質に関する教育やリスク評価を実施する。<br>④製品の国外規制対応を行う。 | ◆SDS最新情報の毎月の定期監視と工場内へ周知する。新JISに対応した製品ラベルへの移行を継続する。<br>◆各部署は原料SDSの最新版を入手し周知する。防災に係る物質は、環安室へ送付し、環安室は必要時に速やかに取り出せる場所に継続して維持・管理する。<br>◆変更内容に応じた環境安全品質審査を確実に実施する。<br>◆各部署は必要に応じ、品質に関するリスク評価や教育を計画する。<br>◆講習会などを利用し国内外規制に対する知見を深める。 |
| 物流安全 | 原料・製品の物流における環境・安全の確保 | 物流関連のトラブル集計と解析、水平展開を図る。 | ◆物流関連のトラブル集計と解析、水平展開を図る。<br>◆物流関連会社に安全監査を計画、工場内の協力を以て実施する。<br>◆物流交通事故の発生を想定した訓練を企画し、他事業所や協力会社の協力を得て実施する。 |
| 社会との対話 | ステークホルダからの信頼醸成 | ①環境安全報告書（2020年版）を発行する。<br>②社会・環境への貢献活動への参加と地域社会との対話を推進する。 | ◆2020年度版NF環境安全報告書を発行する。<br>◆日化協主催の他地区RC地域対話へ参加を検討する。<br>◆近隣交流行事への参加、近隣自治会会議への参加を通じて社会とのコミュニケーションを図る。 |
| RC全般 | | ①本社関連部門と工場の連携強化を図り、RC管理システムの継続的改善を促進する。<br>②安全保障輸出管理を継続的に維持・改善し確実に遂行する。 | ◆生産技術や保全管理技術、環境安全など各事業所との情報交換を行い、改善を図る。<br>◆各部署は、各種監査での指摘事項等の対応を確実に行う。<br>◆本社研修会や外部講習会などを利用し、安全保障輸出の知見を深め、適切に管理する。 |

# 新潟工場の環境・安全活動概況

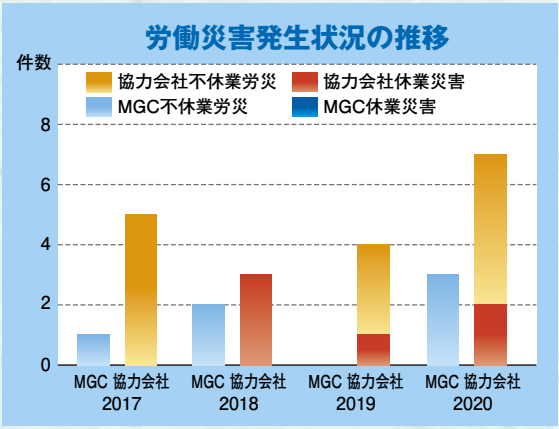
## 労 働 安 全 衛 生

### 安全活動

#### ◆労働災害発生状況の推移

三菱ガス化学㈱新潟工場の休業災害件数は 2012 年度よりゼロ件を継続していますが、昨年は不休業労災が 3 件発生しました。協力会社では休業 2 件、不休業 5 件と、こちらも増加してしまいました。引き続き協力会社との連携を強め、様々な対策を進め、労災ゼロを目指します。

管理者によるパトロールの様子




#### ◆「新潟ゼロ災宣言運動　ゼロ災達成証」 の授与

事業者の安全衛生の関心を高めるとともに、その水準を高めることを目的とした、厚生労働省新潟労働局にて実施している「新潟ゼロ災宣言運動」に当工場も参加。

2017 ～ 2020 年の 4 年間ゼロ災を達成し、その達成証が授与されました。

#### ◆無事故・無災害に向けての取組み

製造現場での設備管理技術、運転管理技術の向上を図る場として、技術教育研修館を開設し、ミニプラント等を教材とした「保全道場」、運転訓練シミュレーターを用いた「プロセス道場」、現場安全を主眼とした「安全道場」を開講しているほか、工事協力会社作業員を対象に危険体感訓練を実施。積極的に人材育成に取り組み、技術及び力量の向上に努めています。

安全道場の風景

# 保 安 防 災　　物 流 防 災

## 保安防災活動

### ◆防災訓練

当工場は、多くの可燃性の化学物質を取り扱っています。そのため、万一に備え自衛消防を組織しています。年に１回、新潟市消防局、西港共同防災㈱と連携して消火活動を行う総合防災訓練を行っています。

総合防災訓練では、地震発生に伴い液化メチルアミン装置内での漏洩、同時に体調不良者１名が出たという想定で、工場内の協力会社にも参加していただき行いました。

その他、地震・津波想定の避難訓練、夜間の緊急連絡・駆付訓練や消火器での消火訓練、消火栓による放水訓練、物流事故を想定した訓練等を実施しています。

総合防災訓練

物流事故想定訓練

## 環 境 保 全

三菱ガス化学㈱新潟工場は、新潟工場「環境・安全・品質方針」、三菱ガス化学グループ「環境サステナビリティ宣言」に基づき環境・保全活動を推進しています。

＜三菱ガス化学グループ　環境サステナビリティ宣言＞
三菱ガス化学グループは、気候変動の抑制や循環型社会の構築、生物多様性の保全など、地球規模での環境の健全性を意識した行動を通じて、将来にわたって持続可能な社会発展の実現に貢献します。

1．エネルギーや原材料、水などの資源に関して環境影響の少ない調達を心掛け、資源の効率的な使用を推進します。
2．温室効果ガスや環境汚染物質などによる環境負荷の削減対策を推進します。
3．リサイクルなどを通じて廃棄物を削減すると共に、廃棄物を適正に管理・処分します。
4．環境負荷の軽減や環境の回復・健全化に貢献する製品や技術の開発を促進・普及します。
5．事業所の所在地における環境関連法令や、国際的ルールを遵守します。
6．環境に関する取り組み情報を開示し、社会との良好なコミュニケーションを保持します。
7．教育を通じて環境問題への意識向上を図ります。

# 省エネルギーの推進

## ◆省エネルギーの実績

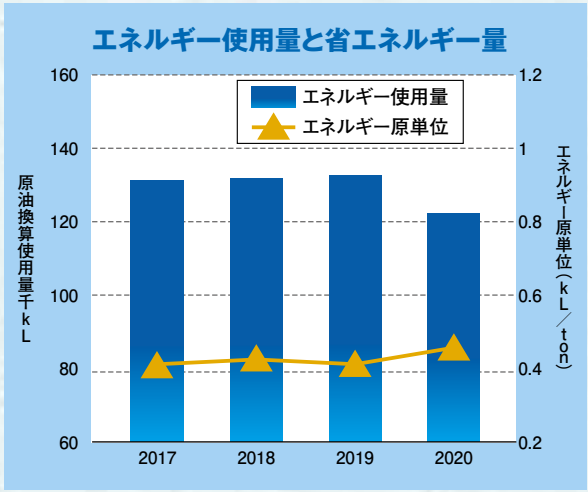
新潟工場では、エネルギーを合理的かつ有効に使用することによって、地球温暖化防止に貢献するとともに、限りある資源の有効利用を図り、環境にやさしい工場とすることを目的として省エネルギー活動を実施しています。

活動の目標を、2018 年より 3 か年計画（新潟工場のエネルギー原単位を 2.2% 改善（12 万 GJ 削減）* することを目標と致しました。

2020 年の単年度の目標数値は、エネルギー原単位 0.74％（4 万 GJ）* を削減するとし、省エネルギーへの取り組みを行いましたが、コロナ禍による生産不振等により、昨年度より増加する結果となりました。

今後も更なる省エネルギー、エネルギー使用量の削減に努めます。

* 年間生産量 30 万 ton をベースに換算



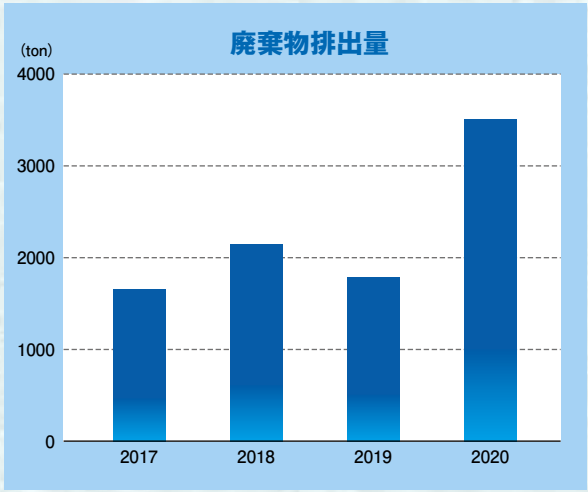

### ＜ 2020 年度の取り組み＞

- 安安定運転の継続（トラブル削減）、保温保冷やスチームトラップの適正管理
- 夜間消灯による電力削減
- MMA 系、BS 系のスチーム管理によるスチームロス削減
- 水銀灯の LED 化、幹線道路灯、事務所蛍光灯の LED 化
- 旧式エアコンの計画的更新
- 研究技術新棟の太陽光発電パネル設置　等

# 産業廃棄物排出量の削減

## ◆産業廃棄物の委託処理量の実績

2020 年の廃棄物排出量は定常作業における削減は進んでいるものの、非定常作業による汚泥発生量が約 1,900t 排出した結果、前年度を大きく増加する結果となりました。引き続き安定運転に努め、産業廃棄物削減に取り組んでまいります。



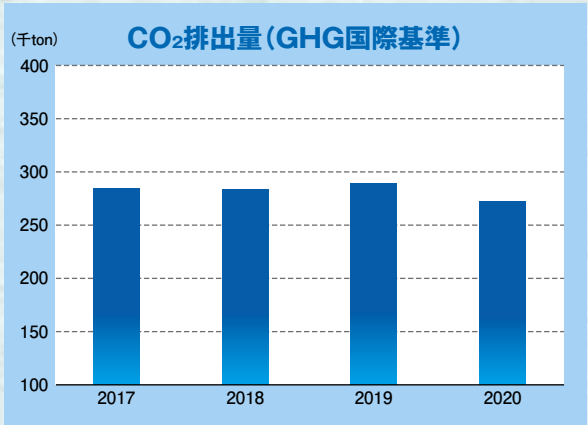

# 大気、排水、臭気、騒音への対応

## ◆大気汚染の防止

### ＜二酸化炭素（$CO_2$）* の排出実績＞

工場内スチームデマンド、電力デマンドに合わせてエネルギー供給を最適化することにより $CO_2$ 排出量抑制に努めております。

2020 年はコロナ禍による生産設備の稼働率低下により $CO_2$ 排出量は昨年度に比べ減少しました。

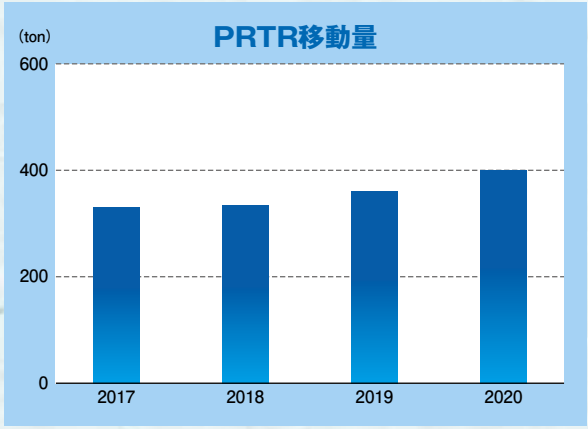


## ＜窒素酸化物、硫黄酸化物、ばいじん＞

ボイラーや焼却炉から排出される排ガス中の窒素酸化物、硫黄酸化物、ばいじんは定期的に測定され、協定値以下の濃度で管理しています。しかし、2020 年 11 月の測定において、一部の設備の窒素酸化物濃度が排出基準を超過していることが確認されたことから、直ちに低減措置を実施しました。今回のトラブルの原因調査結果に基づき、他の設備においても再発防止を図っています。

## ＜ PRTR* への対応＞

PRTR 移動量とは PRTR 物質の大気への排出量、事業所外への移動量、下水道への移動量等の合計数値を表しています。2020 年度は PRTR に該当する製品の生産量増加に伴い微増いたしました。引き続き PRTR 移動量の抑制に努めます。



*PRTR　(Pollutant Release and Transfer Register)
汚染物質排出・移動登録制度

事業者から、大気、水質、土壌への化学物質の排出量および廃棄物の移動量について、行政機関がデータ収集・整理し、社会に公開する制度。2002 年度から実施、対象となる化学物質（第一種指定化学物質）は 462 物質。当工場で対象となる物質は以下の通りです。

・エピクロロヒドリン　・無機シアン化合物　・ジクロロメタン
・ホルムアルデヒド　・メタクリル酸　・メタクリル酸メチル
・メタクリル酸エステル類

## ◆排水管理の徹底

## ＜活性汚泥処理設備＞

当工場の製造工程から排出される排水は、微生物の働きを利用した活性汚泥装置により清澄な水に浄化しています。新井郷川への放出口には緊急遮断弁を設置しており、万が一工場内の排水に異常があったとしても、工場外へ異常排水を流さないシステムを構築しています。

高速凝集沈殿装置
（汚泥を沈降させ、澄明な上水を放流します）

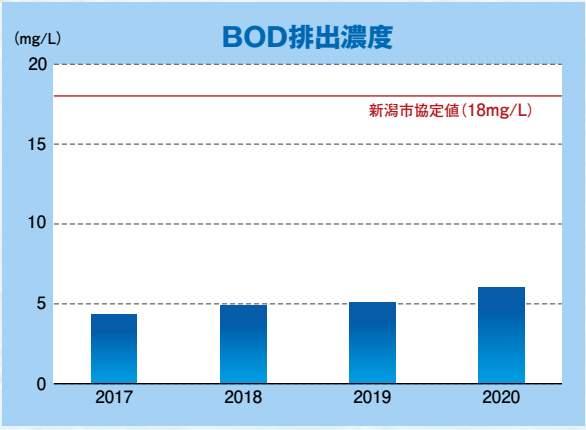
総合排水路出口の遮断弁
（異常排水を新井川に流さないための設備です）

## ・BOD*の排出濃度の実績

当工場の製造工程から排出される汚水を、活性汚泥処理設備で処理し、BODを一般河川と同等レベルまで処理した後、新井郷川へ放流しています。

2020年4月の総合排水路の定期サンプリングにおいて、BODの協定値が18mg/L以下に対して、23.7mg/Lとなり、協定値を超過しました。今回の事象を重く受け止め、再発防止に取り組んでいます。

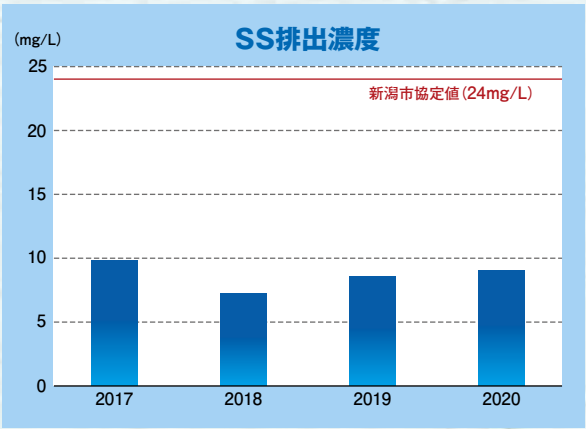
*BOD（生物化学的酸素要求量）は水の汚れを示す指標で、微生物が汚れを分解する時に消費される酸素の量をいいます。




## ・SS*の排出濃度の実績

活性汚泥設備の安定運転に努める事により、SSの排出濃度を適正管理しています。

*SS（浮遊物質量）は水の濁りを示す指標で、工場から出る濁り分の他に原水（阿賀野川）の濁りも影響します。




## ◆臭気の削減

工場から臭気を出さない事は勿論ですが、24時間監視の臭気センサーやガス検知器を工場各所に設置し、もし臭気が出た場合でもすぐに検知し、原因の調査・対応が図れる監視体制を構築しています。

表門守衛所の臭気センサー及びガス検知器

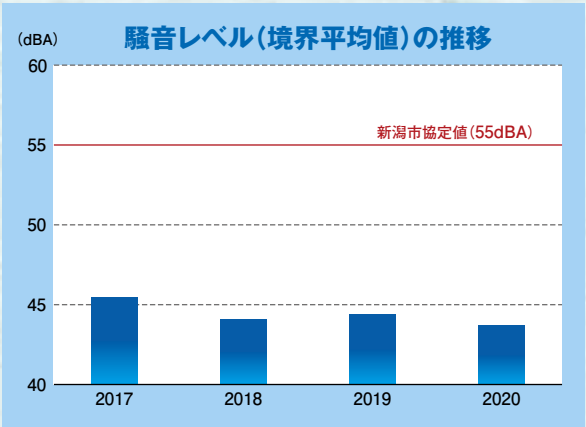
表門守衛所の臭気連続監視画面

## ◆騒音の削減

騒音源の多い製造施設を中心に、吸音材の施工や消音器、防音壁の設置等騒音発生源での対策に加え敷地境界線への植栽面積を増やし、継続的に騒音レベルの低減に努めています。

また、周辺地域における騒音測定も定期的に実施し、状況監視に努めています。

注）データは春秋及び昼夕夜の敷地境界の測点平均値



植栽

防音壁

## リサイクルへの取組み

事務用紙の使用量の管理、事務用品のグリーン購入 * を進め、環境への負荷軽減に努めています。
会議ではプロジェクターの有効活用の推進に努める一方、事務用紙の使用量削減を行っています。

* グリーン購入
グリーン購入とは、製品やサービスを購入する際、環境を考慮し、必要性をよく考え、環境への負荷ができるだけ少ないものを選んで購入することです。購入者自身の活動を環境にやさしいものにするだけでなく、供給側の企業に環境負荷の少ない製品の開発を促すことで、経済活動全体を変えていく可能性を持っています。

# 化 学 品 安 全

## 品質・安全管理の徹底・顧客満足度のアップ

当社は、「MGC 品質方針」を定め、製品の品質管理の徹底及び顧客の満足度をアップするよう努めています。

＜ MGC 品質方針＞

三菱ガス化学（MGC）は、

1．社会のニーズに応え、有用で安全性および信頼性の高い、優れた製品・サービスを提供し、お客様・消費者のご満足とご信頼を獲得します。
2．製品・サービスの品質保証が重要な経営課題であることを認識し、品質の維持・保証・改善のために必要な資源（人々、インフラストラクチャ、プロセスの運用に関する環境など）(注) を確保します。 また、品質教育を充実し、社員の品質に関する意識向上と知識獲得に努めます。
3．品質保証・品質管理部門はもとより、研究開発、製造、調達・物流、営業など、品質に対して密接に関連する各部門においても、品質の維持・保証・改善に関して高い意識を持ち、それぞれの職責を果たし、品質保証活動の継続的改善に邁進します。

（注）品質マネジメントの国際規格である ISO9001：2015 版 7.1 対訳から引用

耐熱性と非晶性を両立した
新規ポリエステル「アルテスタ ™」

ISO9001、14001 の認証取得による安全・品質管理はもちろんのこと、製品、原材料、中間体や廃棄物に至るまで SDS* を完備しています。また、万が一の物流事故に備え応急措置時の安全情報を記載したイエローカードの携帯、小型容器イエローカードを導入等、徹底した安全管理の強化に努めています。

* SDS（Safety Data sheet）製品安全データシート
化学製品を安全に取り扱うために必要な情報（物理的 / 化学的性質、危険性、有害性など）を記載した小冊子。化学製品の事故・災害を未然に防止することを目的に、供給者から使用者や取扱事業者に製品毎に配付します。

# 社 会 と の 対 話

私たちは地域社会との共生を目指して、さまざまな機会を利用して地域の皆さんとのコミュニケーションを図っています。

## Team ECO 活動・清掃活動

UX Team ECO の主催する環境を見直すプロジェクト（Team ECO ～自然派宣言～）に、当社は2018 年より特別協賛で参加しています。2018 年に植樹したクロマツ周辺の雑草を根から除去し、クロマツの根を張りやすくする作業を実施いたしました。

2020 年はコロナ禍により当活動を見送りましたが、状況を見守りながら再開したいと思います。また、秋の衛生週間行事の一環として、工場周辺のゴミ拾いを実施しました。

Team ECO 活動の様子（2019）

ごみ拾い活動の様子

## 地域の催し物への参加

「新潟まつり大民謡流し」に毎年参加し、地域との親睦と融和を図っています。2018 年に作成した、自社独自の山車・プラカードを掲げ、「新潟甚句」を舞いました。

（2020 年は新型コロナウイルス対策のため新潟まつりは中止となりました。写真は 2019 年のものです。）

また、毎年行われる春・秋の交通安全週間中、地域住民の道路横断者の安全を目的として旗振りを行っています。その他、毎年新年に行われている南浜・濁川の 3 地区合同出初め式に、当工場の化学消防車も参加し、地域の防災行事に協力しています。

新潟まつりの様子（2019）

交通指導風景の様子

周辺住民の方々の工場への理解を深めていただくべく、消防学校を始め幅広い皆様に工場を見学していただいています。

消防学校訓練風景

当社は2019年より新潟市アイスアリーナのネーミングライツパートナー契約を締結し、同アリーナの愛称を「MGC三菱ガス化学　アイスアリーナ」と致しました。また子供たちにスポーツの楽しさを体験し、心身の健全育成につなげることを目的とし、サッカーJ2アルビレックス新潟の主催する「アルビレックス新潟キッズスポーツクリニック」にMGCも協賛しています。

MGC三菱ガス化学　アイスアリーナ 全景

アルビレックス新潟キッズスポーツクリニック

## ＲＣ全般

各法の知見を深めるべく、本社における安全保障輸出入に関する教育をZoomを用いて参加するほか、各法の担当者が工場各所の担当者に随時教育を行っています。

安全保障輸出入教育（Web会議）

## ◆新潟工場への代表的な質問

**Q** 夜になると煙突から炎が出ているのが見えることがありますが、火事ではないのですか？

**A** これは火事ではありません。
上の写真はフレアスタックと呼ばれる設備です。ガスを煙突の先で安全に燃焼させ、ガスに含まれる有害成分を焼却することでガスを無害化する処置を行っています。

**Q** たくさんの白い煙が出ていますが、身体に害はないのですか？

**A** 上の写真は冷却塔と呼ばれる装置です。この装置から出る白い煙のほとんどは水蒸気で人体には影響がありません。
当工場は新潟市と公害に関する協定を結んでおり、煙突から大気に放出するガスに関して、窒素酸化物量、硫黄酸化物量等が規定されています。定められた項目に関して、大気に放出するガスを測定し、協定範囲以下であることを確認しています。

**Q** 夜も明るく照明がついていますが、どうしてですか？

**A** 当工場は 24 時間 365 日休みなく操業しています。そのため、安全を確認するため、パトロールを適時実施しています。
夜間において、従業員が安全に移動し、各種確認作業をするため、照明を設置しています。

**Q** 工場で災害などが起こったらどうするのですか？

**A** 工場内には化学消防車を配置し、万一災害が発生した場合に備えています。
災害が発生した時は、直ぐに消防署に通報するとともに、緊急時には防火防災隊と呼ばれる自営防災組織を設置し、災害に対処致します。また、新潟西港共同防災㈱とも協力関係にあり、協同で災害に対処するシステムとなっています。

お問い合わせ

三菱ガス化学株式会社

新潟工場

環境安全室　環境安全グループ

〒950-3121　新潟市北区松浜町3500番地

TEL・FAX（025）259-3945

このパンフレットは
再生紙を
使用しております。